

企業・サイト概要

- 提案企業:株式会社ウエルシィ
- 提案企業所在地:東京都千代田区
- サイト:ケニア国 Kiambu 県 Mataara地区
- 相手国実施機関:アティ給水サービス委員会、ケニア環境・水・自然資源省
- 事業実施期間:2013年10月～2015年12月

ケニア国の開発課題

安全な水へのアクセス・給水率の向上

- ケニアでは安全な水にアクセスできていると想定されている人口は約59%、各戸給水は約19%と報告されており、「水の安全供給」は喫緊の最優先開発課題の一つである。
- 既存の浄水施設の能力低下や配水管網の老朽化と漏水、電力不足による日常的な断水等の問題は全国的な水不足の一因となっており、大規模インフラの整備のみで開発課題を解決することは困難である。
- 特に農村部においては、生活用水の確保に毎日数時間費やし、未処理の原水をそのまま利用せざるを得ないために、多くの人々が水因性疾病の健康被害リスクに晒されている。

合致

提案企業の技術・製品

現地の原水に合わせたオーダーメイド型小規模分散型浄水装置

- 提案製品は原則月一回のメンテナンスのみで維持管理が容易であり、大規模インフラが行き届かない地域に適した小型の仕様。
- 水処理部分では前処理と膜分離技術を組み合わせることで原水の特성에応じた最適な設計が可能であり、独立した給電部分は商用電源の代わりにソーラーパネルを利用することで、非電化地域においても使用できる。

浄水にかかる技術・ノウハウ

- 機材のメンテナンスから水質検査まで浄水事業に関して一貫した体制を自社内に保有しているため、現地への効果的な技術・ノウハウ移転が可能。

提案企業の準備状況

- 事業実施地域において、安全な水の供給と地方電化推進という課題に同時に貢献しうる本製品のニーズの高さが確認できた。
- 特定された事業実施地域における提案製品のオーダーメイド設計・導入～各戸給水～装置の維持管理までの一連のプロセスの実証とビジネスとしての事業性検証のために更なる働きかけが必要。

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 現地の原水の状況に合わせた浄水装置の設計・導入～各戸給水～装置の維持管理までの一連のプロセスの実証を行う。
- 多くの漏水が判明している既存の配水管網を修繕し、給水人口及び給水量を増加させる。
- 各戸給水にアクセスできない人々のためのウォーターキオスクを設置し、維持管理体制を含めたビジネスモデルを検証する。
- 他地域におけるビジネス展開可能なポテンシャルサイトの現地調査と現地パートナーの発掘を実施する。
- 実証装置にかかる現地及び日本での研修を実施する。

ビジネス展開

- 浄水装置の販売のみならず、システムの維持管理や現地技術者の人材育成等も含めた包括的な給水ビジネスモデルを、現地パートナーの協力のもとケニア他地域(他給水委員会及び民間施設等)へビジネス展開する。

